

あとがき

TVでは再度の事業仕分けが放映されていますが、何か空疎な印象は否めずパフォーマンスにも陰りがみえます。さらに問題発言で政治家更迭のニュース、TPPに関する通訳を通した日米の認識の相違、大阪府知事、市長選の結果など、現政権の不安定さが浮き彫りです。吉と出るか凶と出るかわかりませんが2012年は大きな変化を予感させます。TPPの今後の成り行きによっては、日本の医療の全体像、さらにわれわれ耳鼻咽喉科医の将来像についても覚悟するときがくるかもしれません。特に新しい20代の耳鼻咽喉科医の20~30年後が希望に満ちた、確固たるものでなければなりません、われわれ中高年医師の責任は重くなってきました。統計的に耳鼻咽喉科医総数はあまり大きな変化はないものの、感覚的には大学病院への男性入局者の減少、実働する勤務医と診療所医師数のバランスの悪さを実感している全国の先生も多いと思います。もちろん例外的にマンパワーの潤沢な施設もありますが、医師派遣困難な医局から余裕のある医局に派遣元が変わることもなく、パート医のみになった病院も多くみられます。国民にも産科、小児科のような切迫感が認知されていないのが残念です。

さて、本号では特集として「日常診療で遭遇するトラブルへの対応」が組まれています。診療所、勤務医いずれにとりましても遭遇する可能性のあるトラブル、表現を変えればインシデント・アクシデントについての解説とその対応をわかり易く、かつ実践的にまとめていただきました。昨今の医師—患者間の関係からは訴訟となることも有り得る事例です。さまざまなトラブルの可能性を念頭に置きつつ診療にあたる必要性を考えると、起こった後の処置など若手医師からベテラン医師まで有益な内容となっています。原著論文は7編掲載させていただきました。そのうち5編はすべて頭頸部腫瘍に関するものです。いずれも興味ある報告で、口演であれば、頭頸部外科医にとってさまざまなdiscussionが予想される内容です。他の2編も臨床に役立つ力作です。マンパワーの少ない施設での若手医師は日常診療に追われ、経験した興味ある症例を論文までにまとめるのは大変かもしれませんが、奮って本誌に投稿されることを編集委員一同期待しています。

(吉原俊雄)

編集顧問

大和田健次郎

佐々木 好 久

曾 田 豊 二

坂 井 真

竹 中 洋

八 木 聡 明

編集委員

吉 原 俊 雄

小 川 郁

丹 生 健 一

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 (第84巻 第1号)

2012年1月20日発行 (毎月1回20日発行)

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5%)

(2012 年年間購読料 (増刊号を含む 13 冊, 税・送料込)
冊子版/通常 41,160 円 冊子版/個人特別割引 38,430 円
電子版/共有 47,400 円 電子版/個人特別割引 38,430 円
冊子+電子版/共有 52,400 円
冊子+電子版/個人特別割引 43,430 円)

・医学書院ホームページ(インターネット)は

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/> です。

・「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」のページは

<http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/jikotokei/> です。

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5710 (担当 西塚・安部)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802 (編集室)

E-mail: jikotokei@igaku-shoin.co.jp

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三報社印刷(株) 電話 (03) 3637-0005

広告申込所 (株)文京メディカル 電話 (03) 3817-8036

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信 (送信可能化権を含む) に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・本誌を無断で複製する行為 (複写, スキャン, デジタルデータ化など) は, 「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的 (診療, 研究活動を含む) で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・**JCOPY** < (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物 >

・本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に, (社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。